

心と心に通訳はいらない！ ふくしまを知ってもらうことから始めよう！

これまで福島に来てくれた青少年の両親とその友人知人に、
広く福島の魅力・福島の今を紹介します。
四季折々の美しい福島の景色やさまざまな祭りを紹介しながらアピールしました。
福島の果物農家の方が自ら、福島の果物について語り伝えたのです。

全州と大邱で開催する交流会では、
福島のお米を使ってご飯を炊いて食べていただいたり、
実際に福島から持って行く果物のゼリーなどを食していただきました。

ふくしまに対する偏見を、
ふくしまを知っていただくことから、可能な限り無くすために、
これまで交流してきた人との関係を大事にしなが
その輪を広くしていく方法で、
一歩先の、農産品交流の将来的な商談を目指して
(韓国政府の輸入禁止が解かれる希望を持って)
いきたいと願っています。



全州のヒョジャ洞チームが作ってくれた横断幕

Title ぶくかん農食品文化交流

Date 2017.3.15～16



仙台空港にて結団式（渉外事務局長）「福島
の農食品に対しての風評被害払拭にみな心を
一つにして頑張りましょう」



仁川空港到着



韓国の福島ファンの皆さん；仁川空港に横断幕
を持って迎えてくれた



全州ワールドカップ
チムジルバンにて
（韓国の伝統料理に
舌つつみ）



「今日から7日間の日程、バ
スの運行については安全第一
に最善を尽くしています」と
ちゃん理事長



ハノクマウル（韓屋村）と
公州博物館



有名なパンを持参
して訪ねてくれた。
성심당 튀김소보
로



朝はスンドゥブ



前世では一人の王
に使える妃だった
のさ。

誰が王？
誰が王妃？



百済王族衣服体験
「皆さん、時代劇の主人公になった気持ち」